



鈴木牧之記念館

開館 9:00 ~ 16:30 | 4月の休館：毎週火曜日

☎ FAX 782-9860 URL <http://www.6bun.jp/bokushi/>
 ㊚ 大人 500円 / 小中高 250円 (市内の小中学生は無料)

北越雪譜いろはかるたから

「わかよたれそ」の「わ」
 「我がおもい苦難の道なり

『北越雪譜』

牧之は生涯「堪忍」を信条としていました。『北越雪譜』は長い苦勞の末、出版。牧之の思いは、忍の心でやり遂げることができました。



トミオカホワイト美術館

開館 9:00 ~ 17:00 (入館終了 16:30)

4月の休館：1日(水)、8日(水)、15日(水)、22日(水)

☎ 775-3646 FAX 775-3650 URL <http://www.6bun.jp/white/>
 ㊚ 一般 500円 / 小中高 250円 (市内の小中学生は無料)

市民無料の日：18日(土)、28日(火)

開館 30 周年記念「白の探求～光・風・雲～」

期間 7月7日(火)まで

白の世界を探求し続けてきた富岡は、一瞬にして咲く花火の光や揺らめく水の光と影、目には見えない風、朝夕の色づいた雲などを淡い色彩を使い表現しました。

晩年に描かれた「光・風・雲」を中心に、初期から晩年の作品を年代順に展示しています。



夏・潮風A

観覧無料 ラウンジ展 4月

市民ギャラリー 「時の風」布あそび展

古布やハギレを利用した手作り作品

南魚沼の風景 南魚沼の風景を井口亘さん(城内出身)のイラストで紹介しします。

池田記念美術館

開館 9:00 ~ 17:00 (入館終了 16:30) | 4月の休館：毎週水曜日、7日(火)～10日(金)

☎ 780-4080 FAX 777-3815 URL <http://www.ikedart.jp> ㊚ 一般 500円 / 高校生以下無料

井口 優 絵画展 山と大草原に魅せられて

期間 4月6日(月)まで

市内在住の画家 井口優さんの個展。八海山や尾瀬、モンゴルの大自然を描いた風景画を展示。

絵紙ワンダーランド～小千谷の雛まつり～

期間 4月11日(土)～5月24日(日)

南魚沼市民会館

受付 8:30 ~ 17:15 | 4月の休館：毎週月曜日

☎ 773-5500 FAX 772-8161 URL <http://www.6bun.jp/kaikan/>

リコーダー教室、ビギナーズリコーダークラブ参加者募集

暖かい音色の楽器「リコーダー」。吹いてみればその音色に魅せられること間違いなし！ レベルに合わせてクラス分けをしています。11月29日(日)に大ホールでのコンサートを予定しています。

期間 5月～11月の毎週木曜日(初回：5月14日(木))
 ※今回から5月～11月に開催

時間 ビギナーズリコーダークラブ 19:00～20:00
 リコーダー教室 20:00～21:00

対象 小学3年生～

参加費 大人 7,000円、
 高校生以下 4,000円、
 親子 8,000円



今泉記念館アートステーション

開館 9:00 ~ 17:00 (入館終了 16:30 まで)

4月は毎日開館します

☎ 783-4500 FAX 783-3388

URL <http://www.michinoeki-minamiuonuma.jp/imaizumi-kinenkan/>

㊚ 一般 500円 / 小中高 250円 (市内の小中学生は無料)

常設展 ～彫る 摺る 画く～「棟方志功の世界」

企画展 期間 6月9日(火)まで

美しき日本の風景

世界的に有名な浮世絵師、葛飾北斎の生誕260周年を記念して、日本の風景を描いた作品を展示します。北斎を始め、歌川広重、横山大観、片岡球子など、当館が所蔵する巨匠たちの作品が登場します。日本の象徴である富士山や、京都の金閣寺、当時の人びとの様子が描かれた作品をご覧ください。

南国の摩訶不思議な世界(セピックアート)

今ではパプアニューギニアからの持ち出しが禁止されている、貴重な民族美術のコレクションを多数展示。

池田記念美術館

開館 9:00 ~ 17:00 (入館終了 16:30) | 4月の休館：毎週水曜日、7日(火)～10日(金)

☎ 780-4080 FAX 777-3815 URL <http://www.ikedart.jp> ㊚ 一般 500円 / 高校生以下無料

井口 優 絵画展 山と大草原に魅せられて

期間 4月6日(月)まで

市内在住の画家 井口優さんの個展。八海山や尾瀬、モンゴルの大自然を描いた風景画を展示。

絵紙ワンダーランド～小千谷の雛まつり～

期間 4月11日(土)～5月24日(日)

小千谷では、ひな祭りで絵紙と呼ばれる浮世絵を飾る風習があります。小千谷でどのように絵紙が飾られ、楽しまれてきたのか再現し、絵紙の魅力を紹介します。

鈴木俊幸氏ギャラリートーク

日時 4月11日(土) 14:00～ ※要入館料

25年間にわたり絵紙の研究をしてきた、中京大学教授 鈴木俊幸さんの解説で、絵紙展を鑑賞できます。